

太陽光発電システム評価・診断セミナー

～太陽電池パネルの故障検知手法の実習・実演！！～

- 日時 : 2015年10月1日(木) 13:00～16:00
- 場所 : (国)産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所
- 所在地 : 〒963-0298 福島県郡山市待池台2-2-9
- 申込先 : fukushima-mega-seminar-ml@aist.go.jp (産総研 I初級-ネットワークチーム 担当:松本)
- 定員 : 20名(先着順) ※申込締切:2015年9月29日(火)

◆セミナー概要

- ✓ 太陽光発電の故障検知の必要性に関する説明や実習。
- ✓ 太陽電池パネルのバイパス回路のオープン故障検知が可能な新製品の発表。
(日本カーネルシステムと産総研の共同研究の成果品)



◆プログラム(各講演:質疑応答10分)

◆13:10-13:40(講演)

『福島県再生可能エネルギー発電量シミュレーション情報サイトについて』

【講演者】再生可能エネルギー研究センター I初級-ネットワークチーム 研究チーム長 **大谷 謙仁**

◀測定機器メーカーによる講演とフィールド実習・実演▶

【講演者】日本カーネルシステム株式会社 新エネルギーシステム事業本部 **平尾 和幸**

◆13:40-14:20(講演)

『太陽光発電のオンサイト故障検知の必要性』

- ①オンサイト測定の必要性について、想定される不具合や実際の事例を紹介
- ②太陽電池のI-V(電流-電圧)特性測定について、その目的や測定手法について
- ③太陽電池におけるバイパス回路測定、バイパス回路のオープン故障の危険性とは

◆14:20-14:30 休憩

◆14:30-15:20(フィールド実習・実演)

1. 産総研の太陽光発電実証フィールドでのI-V特性測定(屋外)

- ①実際にI-V特性測定器を用いて、多種多様な太陽電池ストリングを測定
- ②ゴムシートのような遮光物や人の影を用いて、部分影の影響を確認

2. 太陽電池モジュールのバイパス回路測定(室内)

- ①実際にバイパス回路測定器を用いて、太陽電池モジュールを測定
- ②バイパス回路オープン故障の検出について実演・解説

※雨天の場合、屋外で行うプログラムを屋内での測定やビデオ上映とさせていただきますので、ご了承ください。

◆15:20-15:50(講演)

『測定データの解析考察について』

～ ネットワーキング ～

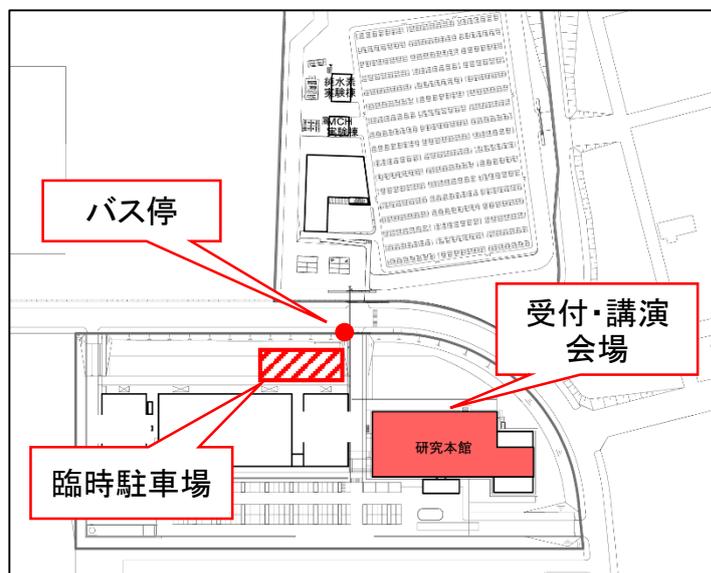
◆16:00 解散

◆アクセス



◆開場案内

研究本館（受付・講演会場）



●お車でお越しの方

- ・東北自動車道「郡山インターチェンジ」から約5km（所要時間約10分）
 - ・東北自動車道「郡山インターチェンジ」で降りて、猪苗代方向（右）へ、国道49号線を走行し、西部工業団地案内標識に従って左折、一つ目の信号を右折して約150m先を左折
- ※駐車場がいっぱいの場合、研究本館裏側の臨時駐車場をご利用ください**

●公共機関ご利用の方

- ・郡山駅からタクシー利用：所要時間25分（料金4,000円目安）
- ・郡山駅から鉄道利用：JR磐越西線「喜久田駅」下車後、タクシーで所要時間約10分（料金1,200円目安）

※最寄り駅の喜久田駅（無人駅）にはタクシーが常駐しておりませんのでご注意ください。

- ・郡山駅からバス利用：郡山駅前バス乗り場「8番」から福島交通「郡山西部工業団地」行きに乗車、「産総研前」で降車徒歩1分（約40分 710円）※運行本数が少ないのでご注意ください

平		日	
郡山駅前発	産総研前着	産総研前発	郡山駅前着
7:30	8:10	8:15	8:58
8:25	9:05	9:10	9:53
11:35	12:15	12:17	13:00
15:30	16:10	16:12	16:55
17:05	17:50	17:52	18:35
18:10	18:50	18:52	19:35
19:05	19:45	19:47	20:30
20:05	20:45	20:47	21:30